

# データ駆動生物学

日付：2024年12月11日（水）

時間：15:30 - 17:00

場所：創薬科学研究館 2階講義室（205）



## 本田 直樹 博士

名古屋大学 大学院医学研究科 システム生物学分野・教授

本講演では、生命現象の背後に潜むルールをデータ駆動的に抽出するアプローチに焦点を当て、特に生成モデルなどがどのようにデータ駆動解析に役立つのかについて解説する。生成モデルとは、直接的な観測が難しい潜在状態とそのダイナミクスに基づいてデータ生成過程を統計的に表現するものであり、データから潜在状態を逆問題的に推定するための基礎となるものである。ここでは、空間トランスクリプトーム、心の葛藤、疾患進行などをテーマに、生成モデルに基づく逆問題について紹介する。